

選択約款変更届出書

沖電お営営発第 49 号

平成 27 年 12 月 1 日

経済産業大臣 林 幹雄 殿

沖縄県浦添市牧港五丁目 2 番 1 号

沖縄電力株式会社

代表取締役
社長 大嶺 満

次のとおり選択約款を変更したので、電気事業法第 19 条第 12 項の規定により届け出ます。

変更の内容	別紙に記載のとおりであります。
実施期日	平成 28 年 1 月 1 日

別 紙

産業用蓄熱調整契約

(選 択 約 款)

平成 28 年 1 月 1 日実施

沖 縄 電 力 株 式 会 社

目 次

1	目 的	1
2	選択約款の届出および変更	1
3	適用条件	1
4	季節区分および時間帯区分	1
5	料 金	2
6	夜間使用電力量の計量	3
7	蓄熱運転により夜間時間に最大需要電力が発生する場合の取扱い	4
8	そ の 他	5
	附 則	6

1 目 的

この選択約款は、お客さまが蓄熱槽を有する負荷等の蓄熱式運転を行ない、昼間から夜間への負荷移行を実施していただくことにより、当社の電力供給設備の効率的運用を図ることを目的といたします。

2 選択約款の届出および変更

- (1) この選択約款は、電気事業法第 19 条第 12 項の規定にもとづき、経済産業大臣に届け出たものです。
- (2) 当社は、この選択約款を変更することがあります。この場合には、電気料金その他の供給条件は、変更後の選択約款によります。
- (3) 当社は、電気供給約款（平成 27 年 12 月 1 日届出。以下「供給約款」といいます。）を変更した場合には、この選択約款を変更いたします。

3 適 用 条 件

供給約款の高圧電力または選択約款の季節別時間帯別電力として電気の供給を受け、蓄熱槽を有する負荷等の蓄熱式運転（以下「蓄熱運転」といいます。）により、4（季節区分および時間帯区分）に定める昼間時間から夜間時間への負荷移行が可能なお客さまで、当社との協議がととのった場合に適用いたします。

4 季節区分および時間帯区分

- (1) 季節区分は、次のとおりといたします。

イ 夏 季

毎年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの期間をいいます。

ロ そ の 他 季

毎年 10 月 1 日から翌年の 6 月 30 日までの期間をいいます。

- (2) 時間帯区分は、次のとおりといたします。

イ 昼 間 時 間

毎日 9 時から 23 時までの時間をいいます。

ロ 夜間時間

昼間時間以外の時間をいいます。

5 料 金

各月の料金は、高圧電力または季節別時間帯別電力によって料金として算定された金額から(1)によって算定された金額（以下「蓄熱割引額」といいます。）を差し引いたものといたします。

なお、お客さまと当社との協議によって、蓄熱割引額を算定する期間を定めることがあります。

(1) 蓄熱割引額

蓄熱割引額は、その1月の蓄熱電力量により、次のとおり算定いたします。

イ 高圧電力として電気の供給を受ける場合

$$\text{蓄熱割引額} = \begin{array}{l} \text{高圧電力の夏季料金} \\ \text{またはその他季料金} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{その1月の} \\ \text{蓄熱電力量} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{(4)イの} \\ \text{蓄熱割引率} \end{array}$$

この場合、夏季の蓄熱電力量には、高圧電力の夏季料金および(4)イの夏季蓄熱割引率を、その他季の蓄熱電力量には、高圧電力のその他季料金および(4)イのその他季蓄熱割引率をそれぞれ適用いたします。

なお、その1月に夏季およびその他季がともに含まれる場合には、計量値を確認するときを除き、その1月の蓄熱電力量をその1月に含まれる夏季およびその他季の日数の比であん分してえた値をそれぞれの蓄熱電力量といたします。

ロ 季節別時間帯別電力として電気の供給を受ける場合

$$\text{蓄熱割引額} = \begin{array}{l} \text{季節別時間帯別電力の夜間} \\ \text{時間における電力量料金} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{その1月の} \\ \text{蓄熱電力量} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{(4)ロの} \\ \text{蓄熱割引率} \end{array}$$

(2) 蓄熱電力量

蓄熱電力量は、6（夜間使用電力量の計量）により計量された夜間時間における使用電力量（以下「夜間使用電力量」といいます。）といたします。ただし、夜間使用電力量に蓄熱運転によって昼間時間から夜間時間へ移行された電力量以外の電力量（以下「控除電力量」といいます。）が含まれる場

合は、夜間使用電力量から(3)によって算定された控除電力量を差し引いた値を蓄熱電力量といたします。

なお、お客さまと当社との協議によって蓄熱電力量の上限値を定めることがあります。

(3) 控除電力量

控除電力量は、夜間使用電力量に夜間使用電力量における控除電力量の比率（以下「控除率」といいます。）を乗じてえた値といたします。

この場合、控除率は、蓄熱槽を有する負荷等（蓄熱運転を直接行なう圧縮機等の機器のほか、蓄熱運転に不可欠なポンプ類等の機器を含めることができます。以下「蓄熱式負荷設備」といいます。）の稼働状況等にもとづいてあらかじめお客さまと当社との協議によって定めるものといたします。

(4) 蓄熱割引率

蓄熱割引率は、次のとおりといたします。

イ 高圧電力として電気の供給を受ける場合

夏季蓄熱割引率	0.341
その他季蓄熱割引率	0.278

ロ 季節別時間帯別電力として電気の供給を受ける場合

蓄熱割引率	0.242
-------	-------

(5) 単位および端数処理

イ 控除電力量の単位は、1キロワット時とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

ロ 控除率の単位は、1パーセントとし、その端数は、切り捨てます。

6 夜間使用電力量の計量

(1) 当社は、蓄熱式負荷設備の夜間時間における使用電力量を、原則としてその他の負荷設備の使用電力量とは別に計量いたします。

なお、当社は、供給設備の状況により、4（季節区分および時間帯区分）

(2) イの昼間時間を毎日 8 時から22時までに変更することがあります。

また、蓄熱式負荷設備は、専用の回路で施設していただきます。

(2) 夜間使用電力量の計量は、供給約款 29（使用電力量等の計量）に準じて行ないます。

(3) 供給電圧と夜間使用電力量の計量電圧が異なる場合の取扱いは供給約款 附則 2（供給電圧と計量電圧が異なる場合の取扱い）に準じて行ないます。

(4) 夜間使用電力量の計量は、特別の事情がない限り 1 計量をもって行ないます。

(5) 当社が承認した小容量の氷蓄熱式空調システムを使用し、当社との協議がととのった場合には、当該システムの夜間使用電力量は、(1)にかかわらず、あらかじめお客さまと当社との協議によって定めます。

7 蓄熱運転により夜間時間に最大需要電力が発生する場合の取扱い

(1) 次のいずれにも該当し、当社との協議がととのった場合の各月の料金は、5（料金）によって料金として算定された金額から(2)によって算定された金額（以下「蓄熱ピークシフト割引額」といいます。）を差し引いたものとしていたします。

イ 高圧電力Bまたは季節別時間帯別電力の契約電力（以下「契約電力」といいます。）が500キロワット以上で、お客さまが適用を希望されること。

ロ 蓄熱式空調システムの運転によって、昼間時間から夜間時間への負荷移行を行なった結果、夜間時間に最大需要電力が発生すること。

(2) 蓄熱ピークシフト割引額

蓄熱ピークシフト割引額は、1月につき次のとおり算定いたします。

蓄熱ピークシフト割引額＝(3)の蓄熱ピークシフト電力×(4)の割引単価

(3) 蓄熱ピークシフト電力

蓄熱ピークシフト電力は、蓄熱運転によって昼間時間から夜間時間に移行された増分電力をいい、契約電力から1年を通じたの昼間時間の最大需要電力を差し引いた値を上限として、蓄熱式負荷設備の容量（キロワット）等にもとづき、あらかじめお客さまと当社との協議によって定めます。

なお、各月の昼間時間の最大需要電力の実績等から、蓄熱ピークシフト電力が不相当と認められる場合には、すみやかに蓄熱ピークシフト電力を適正なものに変更していただきます。

(4) 割 引 単 価

割引単価は1月につき次のとおりといたします。

蓄熱ピークシフト電力1キロワットにつき	1,683円72銭
---------------------	-----------

(5) 当社は、夜間時間および昼間時間の最大需要電力を計量するため、それぞれの時間帯別に計量できる30分最大需要電力計を取り付けます。

(6) 1年を通じて夜間時間に最大需要電力が発生しないことが明らかになった場合等については、本取扱いの適用をただちに解消させていただきます。

なお、それが本取扱い適用後1年に満たない場合の料金は、既に適用した蓄熱ピークシフト割引額の合計金額を本取扱いの適用が解消された月の料金として算定された金額に加算したものといたします。

8 そ の 他

(1) 当社は、必要に応じてお客さまから蓄熱式負荷設備および蓄熱運転に関する資料を提出していただきます。

(2) お客さまが、蓄熱式負荷設備の内容もしくは稼働方法の変更または蓄熱式負荷設備の取外しをされる場合は、あらかじめ申し出ていただきます。

(3) この選択約款に定めのない規定については、供給約款または季節別時間帯別電力の定めるところによるものといたします。

附 則

1 実 施 期 日

この選択約款は、平成28年1月1日から実施いたします。

2 延滞利息の適用開始時期

- (1) 5（料金）および7（蓄熱運転により夜間時間に最大需要電力が発生する場合の取扱い）については、平成28年4月1日以降に支払義務が発生する料金について適用するものとし、平成28年3月31日以前に支払義務が発生する料金については、附則3（延滞利息の適用開始までの取扱い）を適用いたします。ただし、(2)の場合を除き、平成28年3月の検針日の翌日から平成28年4月の検針日までの期間に需給契約が消滅した場合の料金は、平成28年4月1日以降に支払義務が発生する料金といたします。
- (2) 記録型計量器により計量する場合で、当社があらかじめお客さまに計量日をお知らせしたときは、(1)に準ずるものといたします。この場合、(1)にいう検針日は、計量日といたします。

3 延滞利息の適用開始までの取扱い

(1) 料 金

各月の料金は、供給約款またはこの選択約款以外の選択約款によって算定された早収料金の場合の金額から蓄熱割引額を差し引いたものを早収料金として算定いたします。

なお、お客さまと当社との協議によって、蓄熱割引額を算定する期間を定めることがあります。

イ 蓄 熱 割 引 額

蓄熱割引額は、その1月の蓄熱電力量により、次のとおり算定いたします。

- (イ) 高压電力として電気の供給を受ける場合

$$\text{蓄熱割引額} = \begin{matrix} \text{高压電力の夏季料金} \\ \text{またはその他季料金} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{その1月の} \\ \text{蓄熱電力量} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ニ(イ)の} \\ \text{蓄熱割引率} \end{matrix}$$

この場合、夏季の蓄熱電力量には、高压電力の夏季料金およびニ(イ)の夏季蓄熱割引率を、その他季の蓄熱電力量には、高压電力のその他季料金およびニ(イ)のその他季蓄熱割引率をそれぞれ適用いたします。

なお、その1月に夏季およびその他季がともに含まれる場合には、計量値を確認するときを除き、その1月の蓄熱電力量をその1月に含まれる夏季およびその他季の日数の比であん分してえた値をそれぞれの蓄熱電力量といたします。

(ロ) 季節別時間帯別電力として電気の供給を受ける場合

$$\text{蓄熱割引額} = \begin{matrix} \text{季節別時間帯別電力の夜間} \\ \text{時間における電力量料金} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{その1月の} \\ \text{蓄熱電力量} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ニ(ロ)の} \\ \text{蓄熱割引率} \end{matrix}$$

ロ 蓄熱電力量

蓄熱電力量は、夜間使用電力量といたします。ただし、夜間使用電力量に控除電力量が含まれる場合は、夜間使用電力量からハによって算定された控除電力量を差し引いた値を蓄熱電力量といたします。

なお、お客さまと当社との協議によって蓄熱電力量の上限値を定めることがあります。

ハ 控除電力量

控除電力量は、夜間使用電力量に控除率を乗じてえた値といたします。

この場合、控除率は、蓄熱式負荷設備の稼働状況等にもとづいてあらかじめお客さまと当社との協議によって定めるものといたします。

ニ 蓄熱割引率

蓄熱割引率は、次のとおりといたします。

(イ) 高压電力として電気の供給を受ける場合

夏季蓄熱割引率	0.341
その他季蓄熱割引率	0.278

(ロ) 季節別時間帯別電力として電気の供給を受ける場合

蓄熱割引率	0.242
-------	-------

ホ 単位および端数処理

(イ) 控除電力量の単位は、1キロワット時とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

(ロ) 控除率の単位は、1パーセントとし、その端数は、切り捨てます。

(2) 蓄熱運転により夜間時間に最大需要電力が発生する場合の取扱い

イ 次のいずれにも該当し、当社との協議がととのった場合の各月の料金は、(1)によって算定された早収料金の場合の金額から蓄熱ピークシフト割引額を差し引いたものを早収料金として算定いたします。

(イ) 契約電力が500キロワット以上で、お客さまが適用を希望されること。

(ロ) 蓄熱式空調システムの運転によって、昼間時間から夜間時間への負荷移行を行なった結果、夜間時間に最大需要電力が発生すること。

ロ 蓄熱ピークシフト割引額

蓄熱ピークシフト割引額は、1月につき次のとおり算定いたします。

蓄熱ピークシフト割引額＝ハの蓄熱ピークシフト電力×ニの割引単価

ハ 蓄熱ピークシフト電力

蓄熱ピークシフト電力は、蓄熱運転によって昼間時間から夜間時間に移行された増分電力をいい、契約電力から1年を通じたの昼間時間の最大需要電力を差し引いた値を上限として、蓄熱式負荷設備の容量(キロワット)等にもとづき、あらかじめお客さまと当社との協議によって定めます。

なお、各月の昼間時間の最大需要電力の実績等から、蓄熱ピークシフト電力が不相当と認められる場合には、すみやかに蓄熱ピークシフト電力を適正なものに変更していただきます。

ニ 割引単価

割引単価は1月につき次のとおりといたします。

蓄熱ピークシフト電力1キロワットにつき	1,683円72銭
---------------------	-----------

ホ 当社は、夜間時間および昼間時間の最大需要電力を計量するため、それ

ぞれの時間帯別に計量できる30分最大需要電力計を取り付けます。

へ 1年を通じて夜間時間に最大需要電力が発生しないことが明らかになった場合等については、本取扱いの適用をただちに解消させていただきます。

なお、それが本取扱い適用後1年に満たない場合は、既に適用した蓄熱ピークシフト割引額の合計金額を本取扱いの適用が解消された月の早収料金の場合の金額に加算したものを早収料金として算定いたします。

添付書類

- 1 変更を必要とする理由
- 2 選択約款の変更の内容

沖 縄 電 力 株 式 会 社

1 変更を必要とする理由

当社は、電気供給約款が平成 27 年 12 月 1 日届出により変更となったことにもない、本選択約款についても変更することといたしました。

つきましては、電気事業法第 19 条第 12 項の規定に基づき、ここに平成 27 年 2 月 5 日届出の産業用蓄熱調整契約（選択約款）の変更を届け出る次第であります。

2 選択約款の変更の内容

電気供給約款の変更にともない、この選択約款の供給条件に対し必要となる変更を行ないました。